

太陽光発電は

5人中 3.5人が^{※1}

前向きに検討する時代!?



はじめないと
光熱費(年 29.4 万円)を

半分以上^{※2}も

損している!?

さらに
はじめないと
CO2を

1.6倍(年1.5t)も^{※3}

多く排出!?



今なら市の

補助金

あります

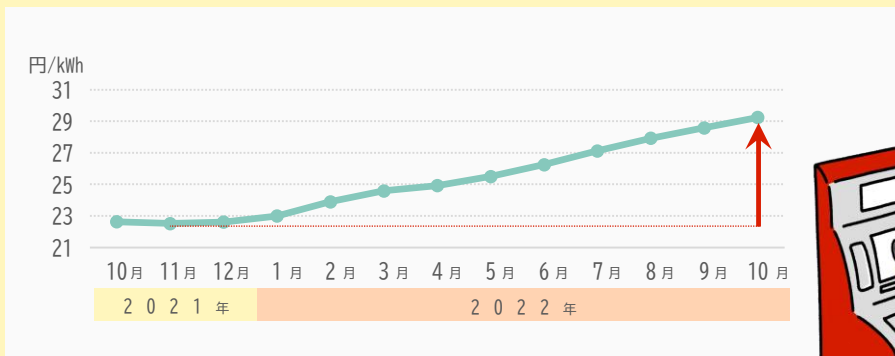
今こそ、太陽光発電 はじめませんか？

※1 環境省「太陽光発電設備の導入意向に関するアンケート調査結果概要」

※2 電気代 月24,000円・システム容量6kWを導入する一般家庭を想定し、太陽光シミュレーションサービス「Sunicle」を用い算出される節約できる電気代(売電含む)と令和4年における2人以上世帯の平均光熱費(総務省「家計調査報告(家計収支編)2022年(令和4年)平均結果の概要」)を比較

※3 一般に、火力発電から太陽光発電設備へ切り替えた際に削減できるCO₂排出量を650gCO₂/kWh、太陽光発電設備の年間発電量を1,200kWh/kWとする。(東京都地球温暖化防止活動推進センター「太陽光発電システム」)令和3年度一世帯あたりのCO₂排出量は約3,730kgされる。(全国地球温暖化防止活動推進センター「4-06 家庭からの二酸化炭素排出量(2021年度)」)システム容量6kW、自家消費率3割とした時のCO₂排出量は2,329gCO₂/世帯・年となる。

電気代は1年間で約3割増加



燃料費の高騰...

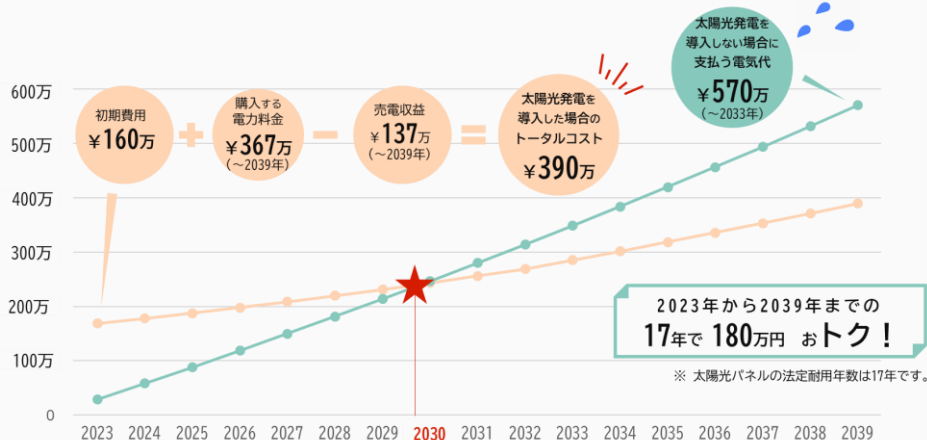
再エネ賦課金...



低圧（従量電灯）の2021年10月～2022年10月までの推移

出典：一般社団法人エネルギー情報センター「新電力ネット」

太陽光を導入してもコストは7年で逆転?!



条件：電気代 月24,000円、システム容量6kwを導入する一般家庭を想定。太陽光発電シミュレーションサービス「Suncle」より、初期費用、売電・節電収益及び太陽光発電設備導入後の電気代を算出(FIT価格：16円/kWh)。家庭向けの電気代について2010年～2019年の上昇率約22%が今後も継続すると想定し、太陽光発電設備導入後の電気代及び太陽光発電設備を導入しない場合の電気代を増加率0.2で算出。(日本のエネルギー2020年度版「エネルギーの今を知る10の質問」/資源エネルギー庁)

太陽光発電をはじめると、あなたはどのタイプを選びますか？

1. 設備購入型

- ✓ 自己負担で導入
- ✓ 発電した電気を使用しつつ、余剰分は自分で選んだ電力会社に売電可能
- ✓ 設備の所有者は自分
- ✓ **今なら市の補助金あり**

※ 一般家庭に太陽光パネル6kW (平均的な設備容量・市役所調べ)を導入すると42万円が助成されます

2. 電力購入型

- ✓ 電力会社の負担で設置するので0円で導入可能
- ✓ 設備の導入費用は、余剰電力の売電料や太陽光パネルで発電した電気の使用料などにより回収される
- ✓ 約10年で設備や売電収益等は自分のものに ※契約による
- ✓ **今なら市の補助金あり**

3. リース型

- ✓ リース会社の負担で設置するので0円で導入可能
- ✓ リース料を支払って発電された電気を使用しつつ、余剰分は自分で選んだ電力会社に売電可能
- ✓ 約10年で設備は自分のものに ※契約による
- ✓ **今なら市の補助金あり**

